

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	66%	34%		
	2	職員の配置数は適切であるか	41%	50%		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	41%	41%	16%	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	66%	33%		・教室ごとの会議で生徒ひとり一人のきめ細かい支援・指導の計画を話し合っています。 ・保護者からの要望を受けて、細部にわ
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		・長期休み前などに要望などを調査している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	75%	16%		・活動日記やくき学園だよりを活用している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50%	41%		・評価結果、改善方法を周知しています。 ・評価を受けて、方針を決めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	91%			・全体の研修会を盛んにやっています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	25%	1%	・支援計画に生かしRV-PDCAサイクルの下で計画しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	41%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	58%	33%		・責任者の負担が大きい。チームとしてが課題。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	41%	25%	1%	・郊外活動、ホームルーム、道徳の時間、公園遊びの時間、図書館学習など学習以外にも社会性・生活力の向上を図るプログラムを実行している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	66%	16%		・朝の会、帰りの会など時間通りの支援・指導も行っているが、運動・創作などの時間を活かした活動を展開している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	75%	16%		・受験生の専門科の講座・個別指導など切り替えながら支援・指導をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	66%	33%		・日々、打ち合わせを繰り返している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	33%	16%	・気づいた点を活かして、更に保護者と連携を図っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	66%	25%		・記録から支援に生かすように打合せを繰り返している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	16%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	66%	25%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%	8%		・経験を積みながら、ふさわしい資質づくりをしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	91%	8%		・学校との連携を送迎等だけではなく積極的に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	66%	25%		・第三者機関(秋谷病院)とも連携をとっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	33%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	66%	16%		・事前から情報提供を行い、移行後も訪問や情報共有等を積み重ねている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	66%	25%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	50%	41%		・公共の図書館や公園などを活用している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	75%	25%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	91%	8%		・都度、保護者と連携を図っている。 ・悪い報告だけではなく、良かった報告も積極的に行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	58%	41%		・公認心理士によるペアトレを行っている。 ・保護者会などを行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83%	16%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	16%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	83%	16%		・生徒の学年別の保護者会を行っている。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	16%		・苦情などに対処しやすいよう風通しの良い環境を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	83%	16%		
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			・取扱責任者を中心に個人情報の漏洩がないよう日々複数の目で確認をしている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	91%	9%		・葛藤期ということもあり、複数の職員の目線から、その子の観察を受け適切な支援になるように努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	75%	25%		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	83%	16%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	66%	33%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	91%	9%		・虐待研修を年3回行っている。 ・発見義務など虐待を防止するための環境を整えている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	66%	33%		・拘束について原則行っていないが、虐待研修にて全職員に知識として研修している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	83%	16%		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	16%		・打合せ等で共有している。